

キャンプファイヤー

山形市少年自然の家

1. 活動概要

集団活動の成果の確認、仲間意識の高まりや団結力の向上、友情を育てる場面として最適の活動です。

ねらい：火を囲んでの様々な催しを通して、仲間との団結をより強固なものにし、友情を育てる。

2. 活動場所

・本館営火場 ・板橋沼キャンプ場営火場 ・荒沼キャンプ場営火場

3. 所要時間

各団体の設定による

4. 準備

《自然の家》 丸太・細薪・杉の葉・灯油・バケツ・営火長(1着)と火の禰宜(2着)の衣装
ドラムコード・ポータブルアンプ(マイク・CD)

《各自》 トーチ棒・新聞紙(必要に応じて)・点火用マッチ

5. 費用

キャンプファイヤー大(丸太24本) … 3,000円

中(丸太20本) … 2,500円

小(丸太16本) … 2,000円

※全サイズ必要な灯油代込みの料金です。

※荒沼キャンプ場営火場では、大の井桁は禁止です。中もしくは小を選択してください。

6. 活動内容

(1) 事前準備 **※職員も手伝います。**

- ・丸太で井桁を組む。細まき、杉の葉を入れる。
- ・トーチに灯油をしみこませる(布の2/3の部分にしみこませておく)。

(2) 役割(例)

- ・営火長…全員を代表する人「営火長のことば」と夜話を担当する…1名
- ・司会者…プログラムの進行をする …1～2名
- ・火の禰宜…トーチをもって入場の際、営火長を先導…1～2名
- ・班長…点火の際、班を代表して「誓いの言葉」を担当する …全班長
- ・火の守…キャンプファイヤーの雰囲気に合わせて、火勢の調節(引率者)



(3) プログラム (実践例)

順 序	内 容	トーチの動き	備 考
第1部	集 合	司会者はキャンプファイヤーの流れを説明する。	1部と3部は儀式なので、私語は慎む。
	入 場	静かに井桁を一周して所定の位置へ。 営火長が北極星の方角に立つので空ける。	井桁を囲み円陣
	夜の歌	静かな歌を歌う。	
	営火長入場	禰宜がトーチを持って営火長を先導する。	離れた場所で禰宜のトーチに点火。営火長には点火せずに入場。
	営火長の話	開会の言葉の後、火に関する話を感慨を込め手短かに。	禰宜は営火長を照らす
	分 火	営火長は各班長のトーチに分火する。	禰宜は営火長に点火 点火したら炎を肩よりも高く保つ。
	誓いの言葉	班長は班の代表として団結の誓いをする。	班長は井桁に点火 短くはつきりと
	心の歌	静かな、心に響くような歌を歌う。	
第2部	出し物	グループ毎に出し物をする。出し物を必ず最後まで見るようにする。 ヤジを入れないようにする。	禰宜、営火長の火は消す 司会者は盛り上がるように配慮する
第3部	静かな歌	静かな雰囲気 of の歌を歌い、心を静める。	個人用のトーチを渡す 火の守は火勢を落としていく。
	夜 話	営火長による言葉(糧となるような話)。	全員起立
	トーチサービス	班長は営火長より分火してもらう。	禰宜は井桁の火で点火し営火長へ点火 私語は慎む
		トーチをかかげ各班へ回り、右まわりに点火していく。	
	終わりの言葉	司会者は感謝と別れの挨拶を述べる。	
	別れの歌	「シャロム」(など) 斉唱 → ハミング	
	営火長退場	火の禰宜、営火長は会場を一周して退場。	
	消 火	右まわりにひとりずつ自分のトーチを消す。	私語は慎む
	退 場	決められた順序に従って退場する。	井桁に入れて燃やすか、回収する。 思いを込めて退場

6. 実施上の留意点

- ・「出し物」は、全員が参加して楽しむことができるように企画しましょう。
- ・火を使う活動なので、指導者は安全面に十分注意しましょう。
- ・トーチの布が手元に落ちると危険です。落ちない工夫をお願いします。
- ・火床の火が残っている間は、必ず1名以上の「火の番」をお願いします。
尚、火床に水をかけないようにしましょう。敷いているレンガが割れます。
- ・翌朝には、残り木、灰、炭などを片付け、きれいに清掃しましょう。
- ・他団体と合同で行うこともできます。

